

「川南町認知症初期集中支援チーム」 を設置しました



認知症は、誰にでも起こり得る脳の病気で、認知機能や記憶力、判断力が低下し、日常・社会生活を送ることが難しくなる病気です。

認知症は、本人が症状を自覚することが難しくなってくるため、周りの人の「気づき」が大切となります。認知症を早期に発見し治療を開始することで、病気の進行を遅らせたり、症状を軽くしたりすることにつながります。

《認知症初期集中支援チームとは？》

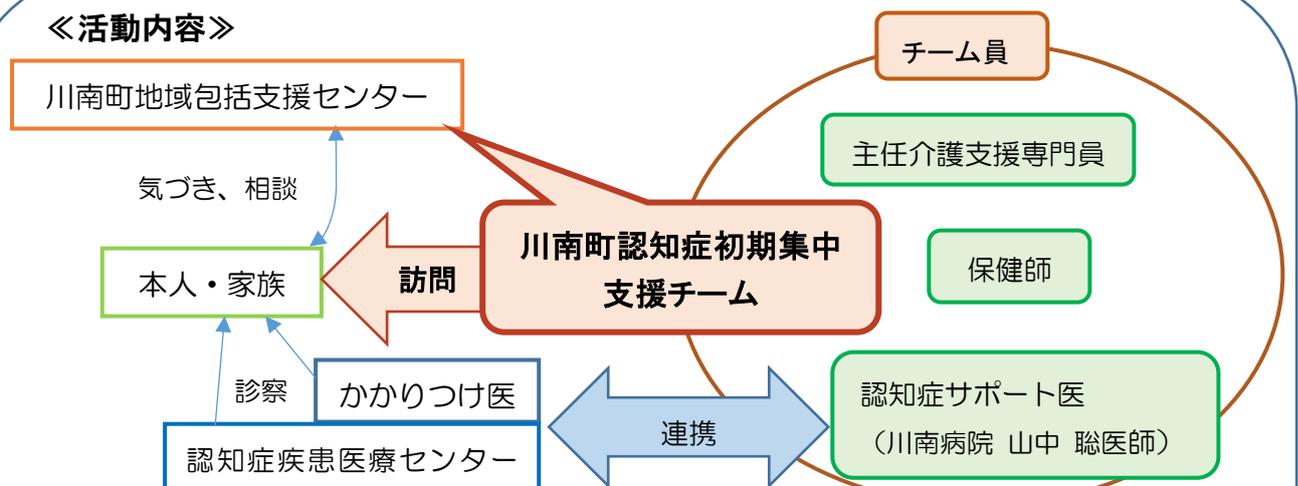
川南町では、認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、川南町地域包括支援センターに「認知症初期集中支援チーム」を設置しました。

「認知症初期集中支援チーム」は、認知症サポート医や医療系・福祉系の専門職で構成され、認知症の方及び認知症の疑いのある方をチーム員が訪問し、認知症の程度の把握や情報提供などを行い、関係機関と連携しながら必要な支援を行います。

《支援対象者》自宅で生活する40歳以上の認知症または認知症の疑いがある方で次のいずれかに該当する方

- ✓認知症の診断を受けていない
- ✓認知症の治療を中断している
- ✓医療・介護サービスを利用していないまたは中断している
- ✓医療・介護サービスを利用しているが、症状が重く、家族等が対応に苦慮している

《活動内容》



川南町地域包括支援センターは、相談のあった対象者の確認を行い、「認知症初期集中支援チーム」に引き継ぎます。チーム員（主任介護支援専門員・保健師）が対象者の訪問・評価を行い、認知症サポート医を交えたチーム員会議で支援方針を検討したうえで、対象者の状態に合わせた支援（6ヶ月を目安）を行います。

【相談窓口】川南町地域包括支援センター ☎ 0983-21-3288